



人を育て 人を活かす

**日総工産株式会社**

東証第1部 コード6569

2022年3月期 第1四半期

# 決算説明会資料

2021年8月16日

## 2022年3月期 第1四半期 実績

- 前年同期比で増収増益（※対2020年3月期、増収増益）
- 自動車、電子デバイスの需要は旺盛
- 自動車系での半導体不足により一部回復に至らず
- エンジニアのニーズは堅調

- ・こちらが、サマリーになります
- ・自動車、電子部品につきましては、需要が旺盛であり、それに伴い増収増益となっております。
- ・半導体不足により、一部の自動車メーカーでは、本来の需要に対応するための生産が出来ておらず、これにより第3Q以降に増産に転じるメーカーが何社かあります。
- ・半導体不足により、受動体にも若干影響がでております。
- ・エンジニアのニーズにつきましては、順調です。

# 目次



- 1** 2022年3月期 第1四半期 **決算概要**
- 2** 2022年3月期 第1四半期 **活動の概況**
- 3** **ターゲット別業績について**
- 4** **今後の見通し(2022年3月期)**
- 5** **株主還元方針**
- 6** **補足資料**



# 1 2022年3月期 第1四半期 決算概要

# 2022年3月期 第1四半期 連結業績ハイライト

(単位：百万円)

## ポイント

- 在籍の増加、稼働（稼働日数、残業時間、休出日数等）の増加もあり、増収増益。
- 1Qの売上高、経常利益は、上場来、過去最高。
- その他の事業についても、増収増益。

	21年3月期 第1四半期		22年3月期 第1四半期		対前年同期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	16,557	100.0%	18,045	100.0%	1,487	9.0%
売上総利益	2,360	14.3%	3,038	16.8%	677	28.7%
販管費	2,154	13.0%	2,568	14.2%	413	19.2%
営業利益	206	1.2%	470	2.6%	263	127.9%
経常利益	238	1.4%	524	2.9%	285	119.4%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	101	0.6%	345	1.9%	243	239.7%

Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

4

・2022年3月期第1四半期の連結業績についてご説明いたします。

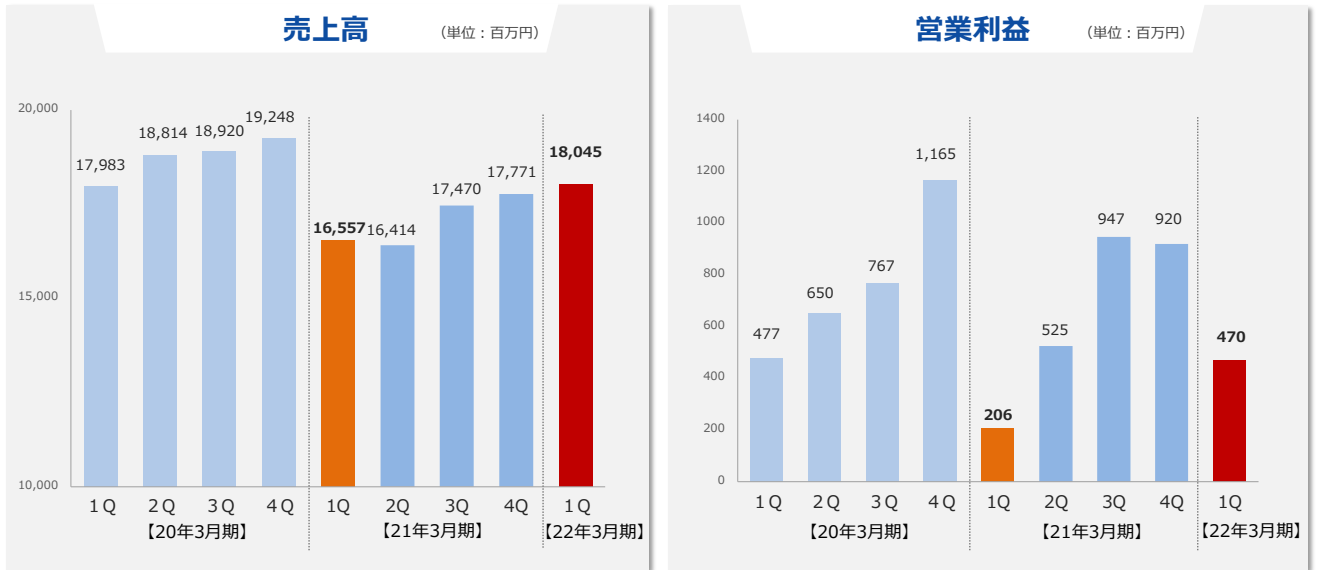
- ・売上高につきましては、180億45百万円（前年同期比 14億87百万円、9.0%増）
- ・売上総利益につきましては、30億38百万円（前年同期比 6億77百万円、28.7%増）
- ・販管費につきましては、25億68百万円（前年同期比 4億13百万円、19.2%増）
- ・営業利益につきましては、4億70百万円（前年同期比 2億63百万円、127.9%増）
- ・経常利益につきましては、5億24百万円（前年同期比 2億85百万円、119.4%増）
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、  
3億45百万円（前年同期比 2億43百万円、239.7%増）  
となりました。

・売上高、経常利益につきましては、第1Qでは上場来、最高となっております。

・在籍数は、前期末13,146名から、第1Q末で13,856名と710名増加いたしました。  
このことが業績に表れております。

・その他の事業（介護事業）につきましても、第1Qは黒字化し、増収増益となっております。  
ただ、コロナの影響により、若干、内覧がやりにくい状況となっております。

# 2022年3月期 四半期単位の連結業績



Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

5

- ・連結の売上高と営業利益の四半期単位の推移グラフになります。
- ・売上高は、第1Qとしては、上場来、最高となりましたが、営業利益につきましては2020年3月期の第1Qに若干届いていない状況です。

# 2022年3月期 第1四半期 単体業績ハイライト

(単位：百万円)

## 売上高について

- 売上高は、在籍の回復もあり10.1%の増収。
- 1Qの売上高は、上場来、過去最高。

## 費用・利益面について

- 1Qの営業利益、経常利益ともに上場来、過去最高。
- 販管費は人材ニーズの回復から、採用費が増加。

	21年3月期 第1四半期		22年3月期 第1四半期		対前年同期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	15,153	100.0%	16,684	100.0%	1,531	10.1%
売上総利益	2,232	14.7%	2,900	17.4%	667	29.9%
販管費	2,028	13.4%	2,417	14.5%	389	19.2%
営業利益	204	1.4%	482	2.9%	278	135.7%
経常利益	219	1.4%	496	3.0%	277	126.5%
四半期純利益	96	0.6%	319	1.9%	222	229.7%

Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

6

・2022年3月期第1四半期の単体業績についてご説明いたします。

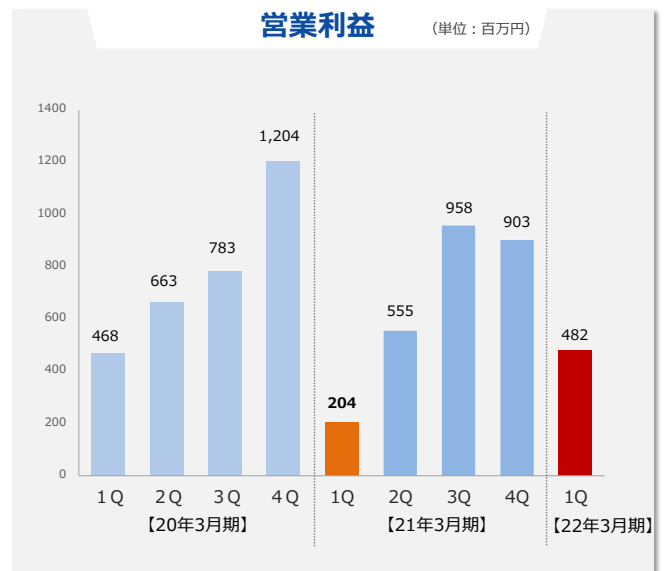
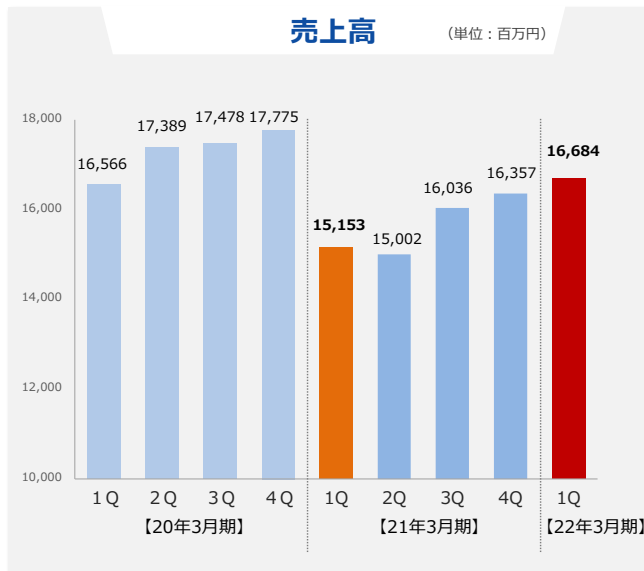
- ・売上高につきましては、166億84百万円(前年同期比 15億31百万円、10.1%増)
- ・売上総利益につきましては、29億円(前年同期比 6億67百万円、29.9%増)
- ・販管費につきましては、24億17百万円(前年同期比 3億89百万円、19.2%増)
- ・営業利益につきましては、4億82百万円(前年同期比 2億78百万円、135.7%増)
- ・経常利益につきましては、4億96百万円(前年同期比 2億77百万円、126.5%増)
- ・四半期純利益につきましては、3億19百万円(前年同期比 2億22百万円、229.7%増)となりました。

・売上高、営業利益、経常利益は、第1Qでは上場来、最高となっております。

・ただ、販管費は前年同期比で増加しております。この大きな要因は、募集費になります。

・前年同期では、バックオーダーが少なく、募集費は62百万円でしたが、今期第1Qでは2億90百万円と、前年同期比で2億28百万円増加いたしました。これにより営業利益は、上場来、最高となりましたが、販管費も増加いたしました。

# 2022年3月期 四半期単位の単体業績



Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

7

- ・日総工産単体の売上高と営業利益の四半期単位の推移グラフになります。
- ・第1Qとして上場来、最高売上高だった20年3月期の16,566百万円に対し、今回は16,684百万円と上回りました。20年3月期の1Q末の在籍は14,282名に対し、22年3月期の1Q末の在籍は、13,856名と426名、パーセンテージでは3%減少しております。一方、売上高を単純に試算すると、20年3月期の1Qが116万円に対し、22年3月期の1Qの売上高は120.4万円となっており、一人当たりの売上高は3.8%増加しております。  
第1Qとして上場来、最高の在籍数だった20年3月期には至っていないものの売上高は伸びていますが、これは単価の上昇によるものです。





## 2 2022年3月期 第1四半期 活動の概況

# 2022年3月期 第1四半期 業績サマリー



## 連結業績

**売上高** **18,045百万円** (前年同期比 +1,487百万円 / +9.0%)  
**営業利益** **470百万円** (前年同期比 +263百万円 / +127.9%)

### ● 業種別売上高 (前年同期比)

自動車 … **+20.8%**  
電子デバイス … **+9.4%**

・自動車関連では、前年同期比で20.8%増加。サプライヤーを含め、需要は旺盛だが、半導体不足による影響を受けているボデーメーカーもあり。  
・電子デバイス関連では、前年同期比で9.4%増加。旺盛な半導体需要に加え電子部品の需要も回復。

### ● 四半期末在籍者数

13,856名 (前期末比+710名)

・在籍数は、顧客の外部人材活用ニーズが堅調に推移し、前期末比で710名増加。回復基調が継続。

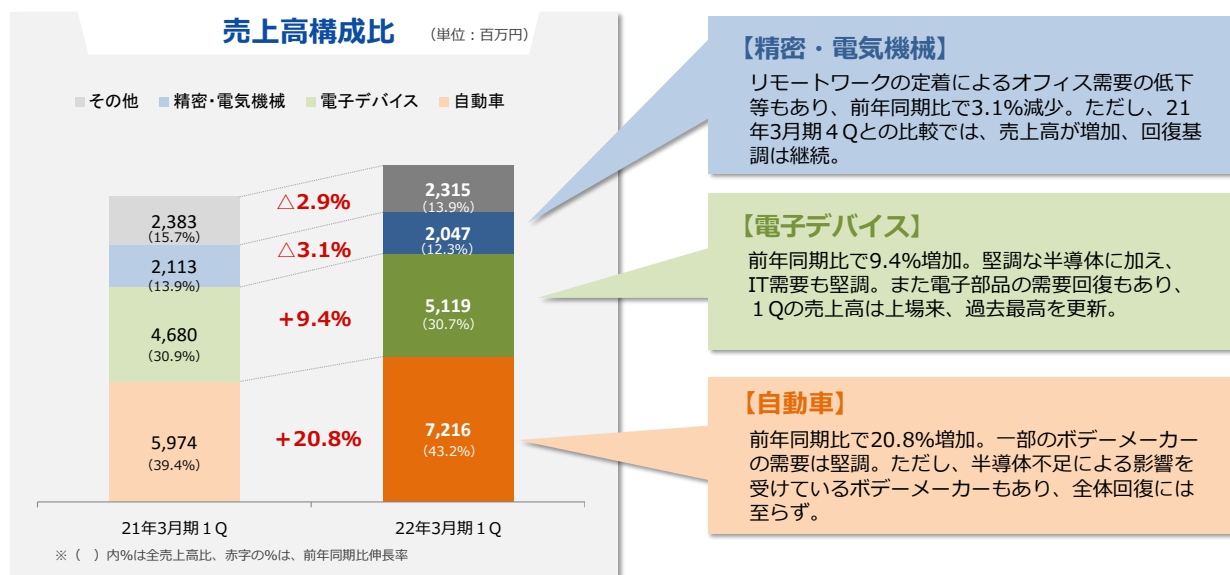
### ● 一人当たり売上高/月

409千円 (前年同期比+51千円)

・稼働（稼働日数、残業時間、休出日数等）が前年同期比で増加、一人当たりの売上高は、前年同期比で51千円増加。

- ・2022年3月期第1四半期の業績サマリーになります。
- ・詳細については、次ページ以降でご説明いたします。

# 2022年3月期 第1四半期 業種別売上高（単体）

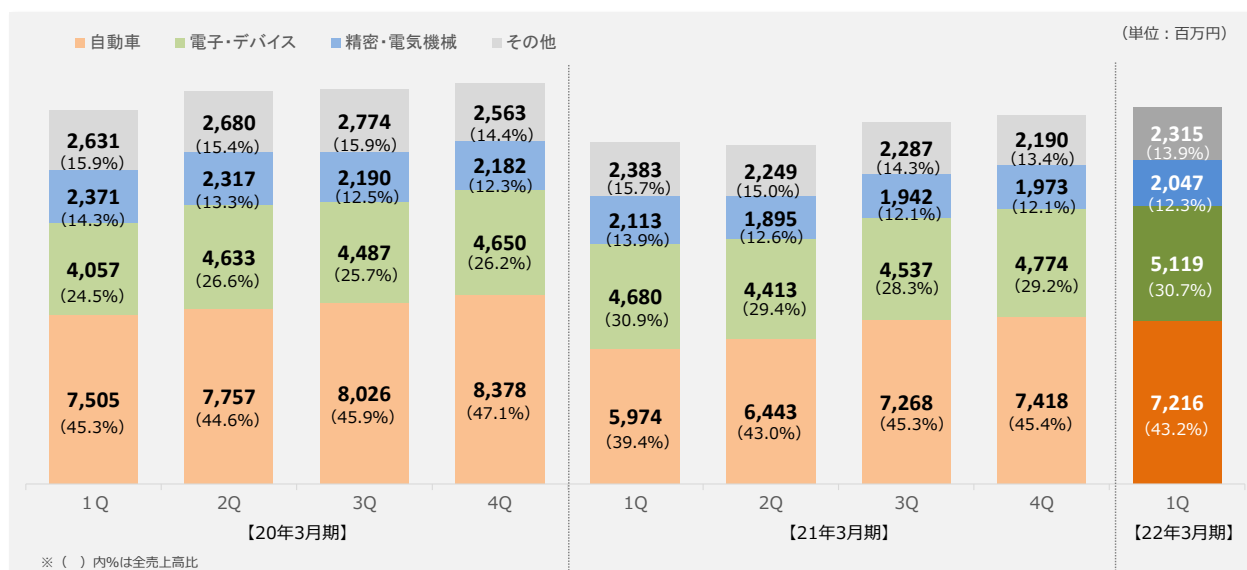


Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

10

- ・日総工産単体の業種別売上高についてご説明いたします。
- ・こちらのグラフは、業種別の売上高構成比を表しております。  
自動車関連、電子デバイス、精密・電気機械、その他の4つに分類しております。
- ・自動車につきましては、前年同期比で20.8%増加いたしました。前期はコロナの影響もあり大きく落ち込みましたが、今期は一部のボデーメーカーを中心に堅調に推移しております。ただ、半導体不足の影響もあり、まだコロナ前のレベルまでは回復しておりません。
- ・電子デバイスにつきましては、前年同期比で9.4%増加いたしました。1Qとしては上場来、最高の売上高となりました。積層コンデンサの企業グループはそこまで回復していないものの半導体メーカー、半導体装置メーカーが活況に推移し、このような結果となりました。

# 2022年3月期 四半期単位業種別売上高（単体）



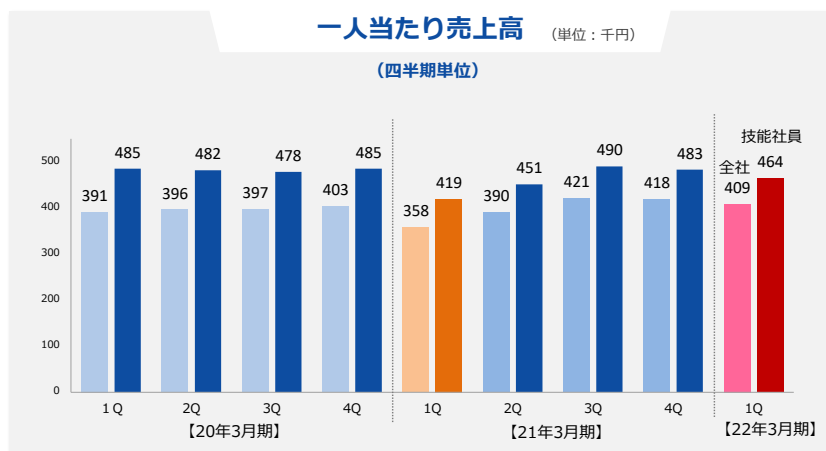
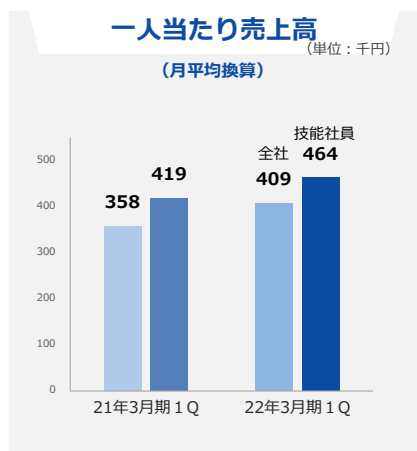
Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

11

- ・業種別売上高の四半期単位の推移グラフになります。
- ・自動車につきましては、22年3月期第1Qの売上高は、第1Qとして上場来、最高の売上高となった20年3月期1Qの売上高に3億円程度足りないものの、過去最高の売上高に近づきつつあります。
- ・電子デバイスにつきましては、四半期単位で上場来、最高の売上高となりました。

## 一人当たり売上高（単体）

- 2022年3月期 1Q累計 <全 社> 一人当たり売上高 409千円（前年同期比 +51千円）  
<技能社員> 一人当たり売上高 464千円（前年同期比 +45千円）
- 全社の一人当たり売上高は、前年同期比で増加。1Qの一人当たり売上高は上場来、過去最高。技能社員も同様に増加も、半導体不足による影響を受けているメーカーも一部ありコロナ前までは戻らず。



Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

12

- ・一人当たり売上高についてご説明いたします。
- ・前年同期はコロナの影響もあり、全社の一人当たりの売上高が358千円、技能社員は419千円と少し異常値でありましたが、今期第1Qの全社の一人当たり売上高は409千円と高い水準で推移しております。
- ・技能社員につきましては、自動車向けの技能社員の稼働時間が本来のレベルまで達しておらず、過去の水準までは至っておりません。
- ・しかしながら、受注単価につきましては、月によってバラツキはありますが前年同期比で30円から50円程度上昇しております。
- ・時間外につきましては、前期末後半のレベルに達していないものの第1Qは、22時間前後(月平均/人)で推移したことも、一人当たりの売上高が増加した要因の一つであります。

# 在籍人数（単体）



## 前期末比

+710名（+5.4%）

## ポイント①

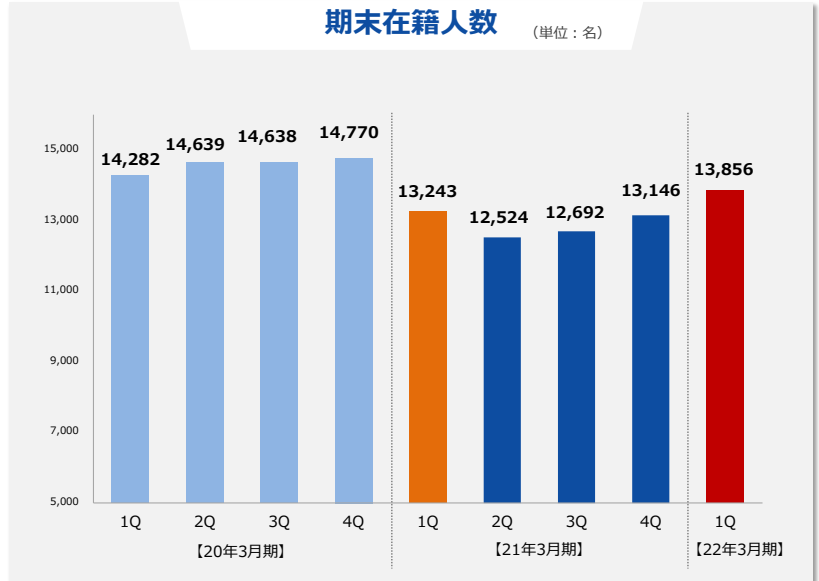
前年同期比で、新規入社が増加。また退社抑制により離職率も改善、在籍数は増加。

## ポイント②

自動車、電子デバイスの人材ニーズは堅調。精密・電気機械、その他の業種についても人材ニーズが回復。

## 期末在籍人数

（単位：名）



Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

13

- ・四半期単位の期末在籍についてご説明いたします。
- ・前期末から6月末までの間に、710名、5.4%増加いたしました。これは新規入社が増加したこともありますが、離職率が、第1Qは大幅に低減したことがプラスに作用しております。
- ・業種別では、自動車、電子デバイスで在籍が増加しており、この2つが業績を牽引しております。

# 技能社員・エンジニア数（単体）



## ポイント①

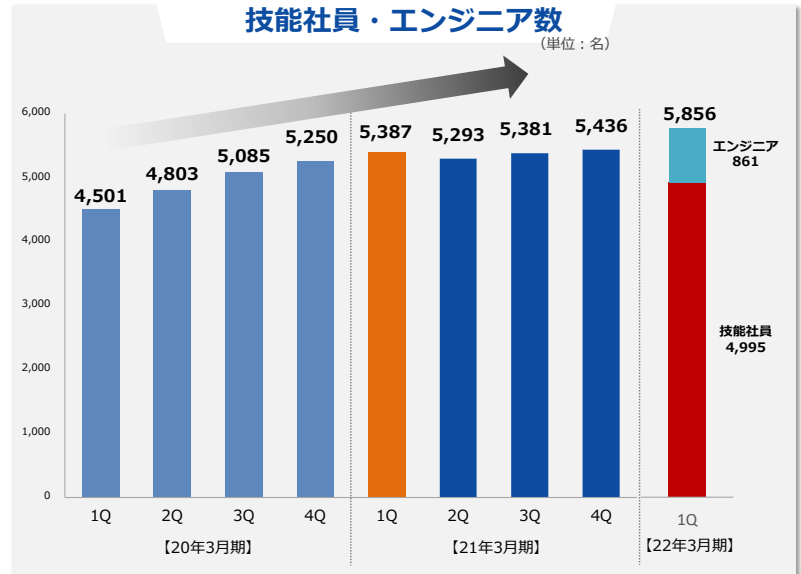
今期より、技能社員とエンジニアを別表記。技能社員及びエンジニアの総数は、順調に増加（前期末比+420名）。

## ポイント②

堅調である半導体に加え、車載メーカーなどアカウトを中心に増加。

## ポイント③

在籍に占める技能社員及びエンジニアの比率は42.3%（2021年3月期4Q 41.4%）。



Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

14

- ・技能社員についてご説明いたします。
- ・前期末、5,436名に対して、1Q末では5,856名と420名増加しております。
- ・中期経営計画でお示しさせて頂いた通り、今期は製造系技能社員とエンジニアを区分けして、お示しさせていただきます。
- ・在籍に占める、技能社員とエンジニアの割合は、前期の第4Qと比較して42.3%と0.9%上昇しております。
- ・技能社員がどの分野で増加しているかにつきましては、自動車関連、装置メーカーで増加しております。

# アカウント企業について（単体）

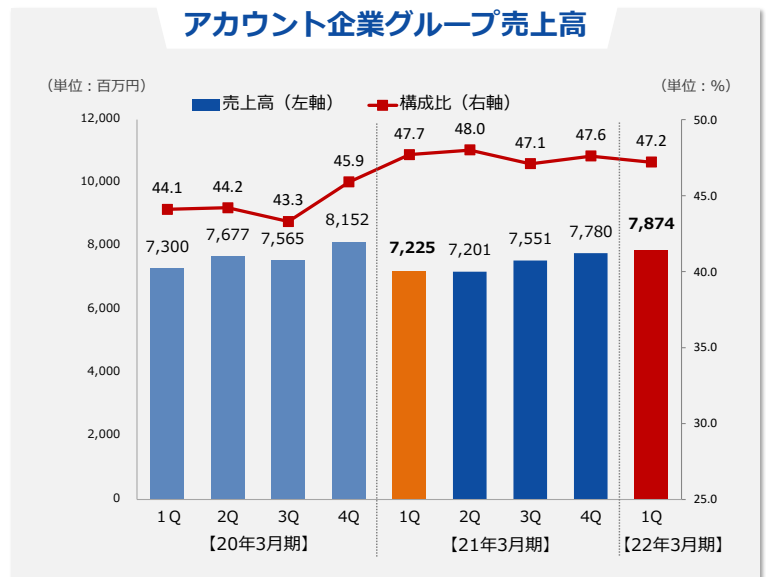


## ポイント①

- ・アカウント企業グループの売上高は、前年同期比で9.0%増加。
- ・特に自動車系企業グループの売上高が増加。

## ポイント②

全体の売上高増加により、構成比は前年同期比で減少も、1Qの売上高としては、上場来、過去最高。



Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

15

- ・アカウント企業についてご説明いたします。
- ・全体の構成比が下がっているように見えますが、これは全体の売上高が増加していることによるものです。
- ・大手自動車メーカーグループにつきましては、四半期単位で上場来、最高の売上高となった43億95百万円(20年3月期4Q)に対して、今回は42億83百万円と過去最高の水準にかなり近づきつつあります。単月では、上場来、最高の売上高を超えてきている状況であります。
- ・このグループのアカウント企業における売上高構成比は54.4%になります。
- ・積層コンデンサの大手グループにつきましては、半導体の供給が潤沢でないことにより、生産体制は整っているものの、まだ本格的には回復していない状態であります。ただ半導体の回復に伴い、コンデンサ、受動体につきましては少しずつ増産になりつつあります。
- ・このグループの売上高構成比は25%になります。
- ・大手電機グループにつきましては、まだまだ規模は小さいですが、一貫して増産に対応しており、拡大が見込まれます。
- ・アカウントの売上高構成比は12.1%となっております。
- ・複合機を作っているグループにつきましては、少しずつ回復しているもののオフィスでの需要が中心のため、まだ本格的な回復には至っておりません。



# 離職率（単体）



## 2022年3月期 第1四半期 実績

全体の離職率

**3.5%**

（対2021年3月期 0.7P改善）

技能社員の離職率

**1.2%**

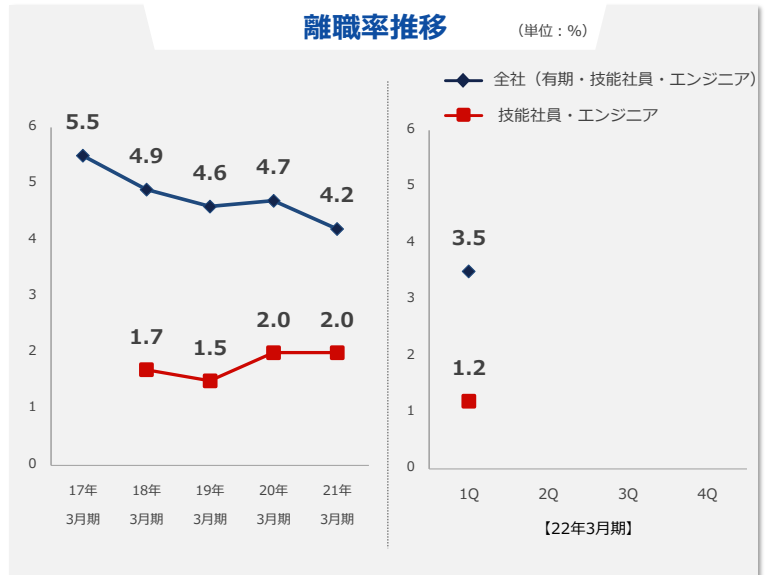
（対2021年3月期 0.8P改善）

## ポイント

離職率の低下が、在籍増に貢献。

## 離職率推移

（単位：％）



Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

16

- ・離職率についてご説明いたします。
- ・全体の離職率は前期4.2%に対し、第1Qは3.5%と大幅に離職率は低下しております。
- ・技能社員につきましても、1.2%と抑えることが出来ております。
- ・離職率の低下が、在籍の増加に貢献出来ており、コストの効率も上がっております。

# 教育実績（単体）



## ポイント①

技能社員及びエンジニア増加に伴い、受講者数が増加。

## ポイント②

- ・設備保全基礎教育については、更に質を重視した教育に特化。
- ・今後は、オンラインとリアル研修の同時進行による効率的な研修に取り組む。

## ポイント③

エンジニア教育では、専門性の高い教育を実施。

### ● 2022年3月期 第1四半期 主要なコース別教育実績（延べ人数）

（単位：名）

研修名	1Q (4月～6月)	内容	21年3月期 1Q
技能社員教育	448	技能社員スタンダード教育	259
設備保全基礎教育	28	設備保全基礎教育	69
エンジニア教育	39	製造設備保全・製造設備技術 機械設計・生産技術 SEAJ教育（半導体に特化した安全教育）	9
製造教育	1,331	ものづくり教育、 製造スタッフ配属前実習、 移動教育等	796
合計	1,846		1,133

Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

17

- ・教育実績についてご説明いたします。
- ・設備保全基礎教育につきましては、前年同期比で減少しているように見えますますが、設備保全の方々を装置エンジニアとして増やしております。こちらが基礎的な教育に対して、エンジニア教育は、設備保全の教育、製造設備の技術といった教育の中身を充実させております。
- ・さらに設備保全の基礎教育についてもカリキュラムの見直しを行っており、より習熟度が早くなる、現場でのスキルアップに繋がることに力を入れております。
- ・コロナ禍でも、集合しなくて良いWeb研修、今準備をしているイーラーニングをもう一段進めてまいります。またもう一段先では、VRを使った研修を計画しております。

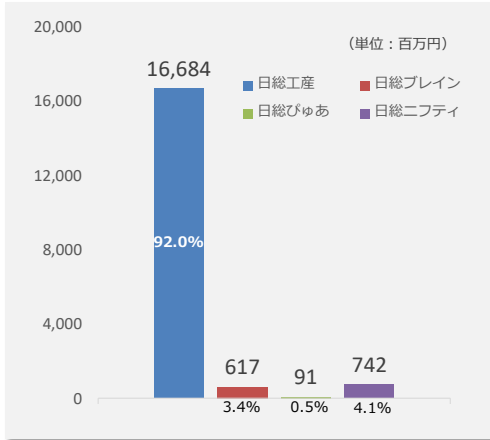
### 3 ターゲット別業績について (2022年3月期 第1四半期)

・ターゲット別業績についてご説明いたします。

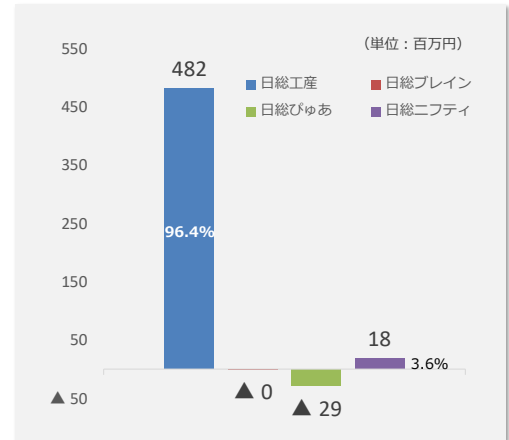
## 個別単体売上高・営業利益比率



2022年3月期 第1四半期  
個別単体売上高



2022年3月期 第1四半期  
個別単体営業利益



売上高・営業利益の90%以上は単体の業績で構成

Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

19

- ・個別単体売上高・営業利益比率についてご説明いたします。
- ・こちらが、会社ごとに分類したグラフになります。
- ・日総工産の売上高が全体の92%を占めております。

# 既存領域について

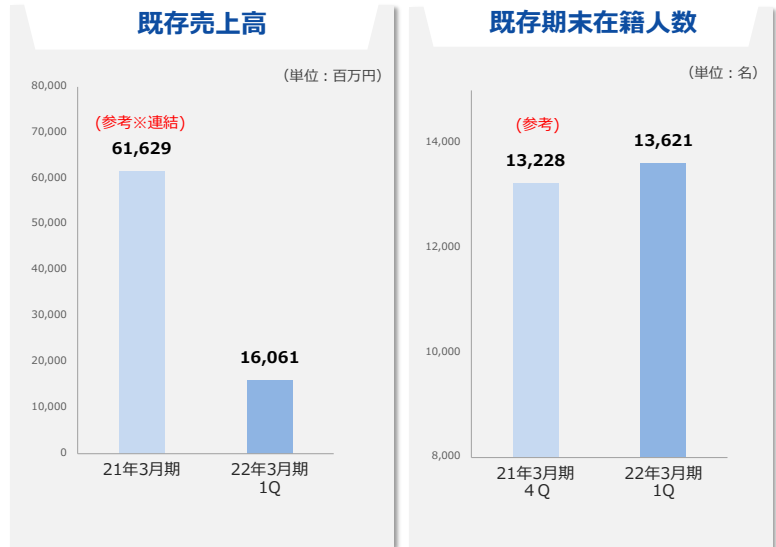


## 既存売上高について

- ・連結売上高からその他の事業（介護・福祉）及びエンジニア事業を除いた売上高。
- ・21年3月期の既存売上高は、今期より3事業に区分したため、参考値として記載。

## 既存在籍について

- ・既存の在籍数は、製造スタッフ（除くエンジニア）及び事務派遣スタッフの在籍数。
- ・上記同様、21年3月期は参考値として記載。



Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

20

- ・既存領域についてご説明いたします。
- ・中期経営計画でお示しさせて頂いた既存領域についてのグラフになります。
- ・製造系のスタッフと、事務系のスタッフを合わせた数が在籍数になります。また、この売上高をグラフで表しております。
- ・既存売上高の進捗率につきましては、第1Qで23.5%と、順調に推移しております。
- ・在籍数は参考値(同じカテゴリー)との比較で、393名増加しております。

# 株式会社ベクトル伸和の株式取得（子会社化）について

## 既存領域の拡大に向けて

既存領域拡大の成長戦略の第一歩として、株式会社ベクトル伸和の全株式を取得（子会社化）することといたしました。当社のリソースを掛け合わせることで、サービス提供体制の強化と事業の拡大が可能となり、両社の既存の顧客だけでなく、より広い範囲の顧客ニーズに応えてまいります。

## 株式会社ベクトル伸和について

- ・半導体や精密機器などの製造業における請負業務が事業の柱。
- ・事業内容は、治具、各種生産設備の設計・開発・製造、人材派遣、人材紹介など幅広い業務を手掛ける。

## 【会社概要】

(1) 名称	株式会社ベクトル伸和	
(2) 所在地	愛知県知立市池端三丁目1番地	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 金本 将生	
(4) 事業内容	人材総合サービス事業	
(5) 資本金	7,825万円	
(6) 設立年月日	2004年6月24日	
(7) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

※詳細につきましては、2021年8月10日に公表いたしました「株式会社ベクトル伸和の株式取得（子会社化）に関するお知らせ」をご覧ください。

Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

21

- ・株式会社ベクトル伸和の株主取得（子会社化）についてご説明させていただきます。
- ・規模はそれほど大きくはありませんが、半導体の装置、半導体の計測装置を作っているメーカーに深く入り込んでおり、技術、技能を持った会社になります。
- ・今後、この分野を深く掘り下げて行き、また子会社化により、ある半導体装置、半導体計測メーカーに入り込むきっかけにしたいと考えております。

# エンジニア領域について（業績）

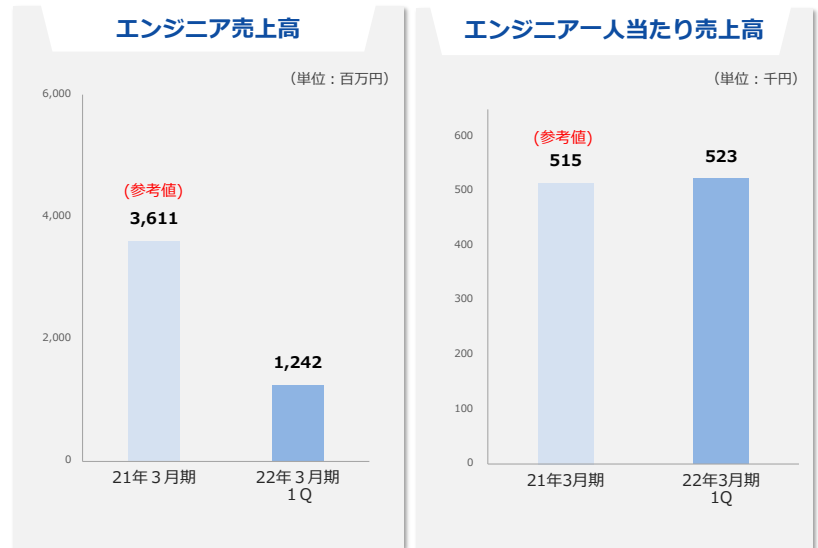


## 売上高について

- ・1Qの売上高は、今期目標に対して順調に推移。
- ・21年3月期のエンジニア売上高は、今期より3事業に区分したため、参考値として記載。

## 一人当たりの売上高について

- ・エンジニアの一人当たりの売上高は、523千円/月と、全社（409千円/月）、技能社員（464千円/月）と比較して高い。
- ・上記同様、21年3月期は参考値として記載。



Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

22

- ・エンジニア領域についてご説明いたします。
- ・今期よりエンジニアを分けしております。参考値になりますが、前期、エンジニアの売上高を切り出した場合36億11百万円、今期第1Qは、12億42百万円と通期目標に対して進捗率は30.3%と順調に推移しております。
- ・一人当たりの売上高は、前期515千円に対し、今期第1Qでは523千円と、当初の計画より早く、一人当たりの売上高が伸びております。

# エンジニア領域在籍人数



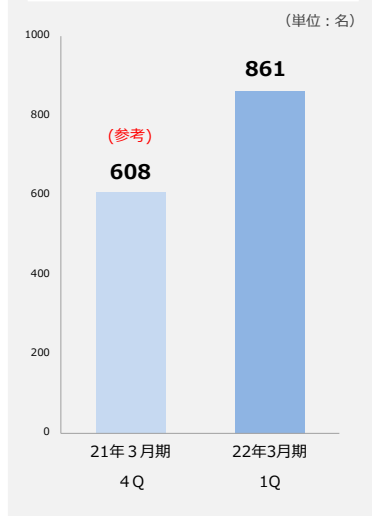
## エンジニア期末在籍について

- ・今期より、エンジニア業務を行っている人材を区分。
- ・21年3月期の在籍数は、今期より3事業に区分したため、参考値として記載。

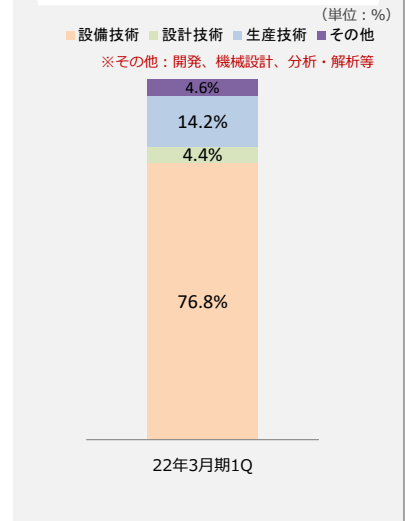
## エンジニア業種分類について

- ・業種別在籍では、設備技術が最も多く、設備保全業務がメイン。

### エンジニア期末在籍人数



### 業種別在籍 構成比



Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

23

- ・エンジニア領域在籍人数についてご説明いたします。
- ・エンジニア領域については、当社は後発のため、他社と比べて特色、強みがなく、はいけないため、設備技術に最も力を入れております。グラフにある通り、設備技術が76.8%、生産技術が14.2%となっております。
- ・この分野は製造と親和性が高く、またこの分野の人材を育成する上で、基礎となる人材が当社には多いことから、この人材をエンジニアに育成し、拡大していくことを考えております。

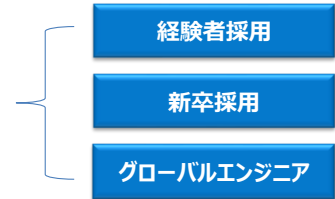


# エンジニア領域についてのトピックス



## 採用チャンネルの拡大

- ・エンジニアに特化した採用サイト『engineer works』を立ち上げ予定（8月中）。



## 募集職種の明確化と拡大

- ・ものづくり系10職種、IT系10職種の計20職種に拡大。

### (ものづくり系)

・機械設計・回路設計・組込制御・CAE解析  
・CADオペレーション・生産技術 品質保証  
・メンテナンス 保守・研究 開発  
・分析 評価 試験・その他技術系

### (IT系)

・PM PMO・システムエンジニア  
・プログラマー・サーバー ネットワーク  
・システム運用保守・テスト 評価  
・社内SE ヘルプデスク・AI関連  
・Webデザイン・その他IT系

## AI・ITエンジニア

- ・クロスコンパス社と協業にてAIエンジニアの教育をスタート。
- ・ITエンジニアによるインフラ設計構築受託業務をスタート。

## エンジニア教育の外販

- ・保全教育を中心とした取引先社員への教育を受託。

Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

24

- ・エンジニア領域のトピックスについてご説明いたします。
- ・採用チャンネルの拡大といたしまして、『engineer works』という当社独自の採用サイトを8月に立ち上げます。
- ・エンジニアを製造系の10職種、IT系の10職種に分類をし、戦略を分けて立ち上げていくことを行います。
- ・今まで力を入れてこれなかったAI・ITの領域につきましては、昨年の9月に資本業務提携を行いましたクロスコンパス社とAIエンジニアの教育をスタートいたしました。
- ・製造装置に今後AIが実装されてきた際に、お役に立てるよう、お客様やAIを実装しようとしている装置メーカー様と協議をしながら、必要となる人材の育成を目指しております。
- ・また大手電機メーカーのインフラ設計構築の業務を受託し、スタートしております。
- ・今後、このようなことを拡大していきながら、AI・IT分野にも参入していこうと考えております。
- ・設備技術エンジニアにつきましては、お客様もそのような人材が必要のため、お客様社員の育成(教育の外販)も積極的に進めてまいります。

# 離職率（既存・エンジニア領域）



## 2022年3月期 第1四半期 実績

既存領域（単体）の離職率

**3.7%**

（対2021年3月期参考値 0.6P改善）

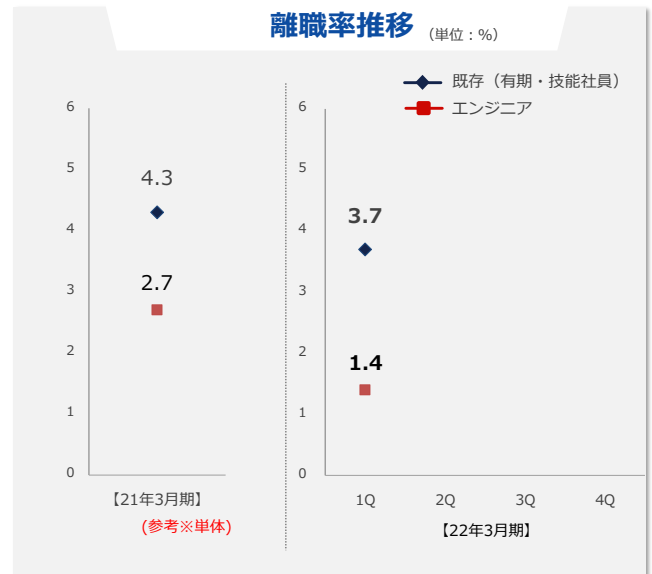
エンジニア領域（単体）の離職率

**1.4%**

（対2021年3月期参考値 1.3P改善）

## ポイント

- ・エンジニアの離職率は、1.4%と低い。
- ・21年3月期の離職率は、今期より3事業に区分したため、参考値として記載。



Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

25

- ・既存・エンジニア領域の離職率についてご説明いたします。
- ・エンジニアを切り出した際の離職率は、前期が2.7%に対し、今期第1Qでは1.4%と低下しております。
- ・また、全体からエンジニアを除いた離職率をここに記載しております。
- ・全体と比較して、エンジニアの方々の離職率は低いですが課題として、働き始めたエンジニアの方々が、お客様のニーズについていくことが難しくリタイヤするケースも出てきております。そういったことに対し、カリキュラムを拡充する、サポート体制を強化するなど、さらに離職率の低下を目指してまいります。

## HRクロス（Web人材派遣一括管理システム）

- ・パートナーシップ企業である、クロスリンク社が提供する人材派遣一括管理システム（発注、契約管理、派遣スタッフの評価、勤怠管理等の煩雑な管理業務をカンタンにシンプルに使えるシステム）の試験運用開始。
- ・当社取引先からの受注決定。

システムの特徴①	システムの特徴②	システムの特徴③
<b>DX化 （紙資料からの脱却）</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 帳票や勤怠、請求書を派遣会社ごとに合わせたフォームで作成、管理が可能</li><li>・ 外部システムから勤怠データ等のCSVデータをHRクロス用に交換して取込可能</li><li>・ 過去情報検索や出力が可能</li></ul>	<b>エビデンス・評価 が簡単・確実に</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 評価等のエビデンスをweb上で記録、派遣先企業はいつでも確認可能</li><li>・ 現場や総務の方がスムーズに入力できる業界標準の統一した評価フォーマットを用意 ※フォーマットは選択式、独自評価にも対応可能</li></ul>	<b>定期的に改定される 派遣法への対応</b> <p>数年に一度改定される派遣法改正および様々な法改正に対してクラウドサービスの利点として随時適切にアップデート対応</p>

## AI・ITエンジニア

- ・クロスコンパス社と協業にてAIエンジニアの教育をスタート。
- ・ITエンジニアによるインフラ設計構築受託業務をスタート。

- ・新規事業領域についてご説明いたします。
- ・新規事業の中のHRクロスについてご説明させていただきます。
- ・同業8社で出資している会社で作っている派遣の契約管理、就労管理、スキル管理が出来るシステム(HRクロス)を4月1日から試験運用をしております。本格運用は、10月1日を目指しております。
- ・お客様につきましては、ペーパーレス、契約の中身を管理する煩雑さから解放され、我々は同じ方法でこのような方々をマネジメントするのに役立ち、働いている方々も、我々がスキルに応じた単価をお客様から獲得し、それを処遇に反映することで、3方良しの考え方に沿ったシステムとなっております。
- ・システムの特徴は記載通りになります。
- ・AI・ITエンジニアにつきましては、先ほどご説明させて頂いた通りになります。
- ・イーラーニングがどのように新しい事業に結びつくのか、採用のプラットフォームをどのように構築しようとしているのか、HRテック等につきましては、時間の経過に伴って開示できる状況になりましたら、ご説明させていただきます。

# その他の事業 事業収益



## ポイント

- ・介護施設である1～5号館の入居率は2.6P低下するも6号館の入居率は2.1P上昇。
- ・効率的な運営を行った結果、18百万円の営業利益。

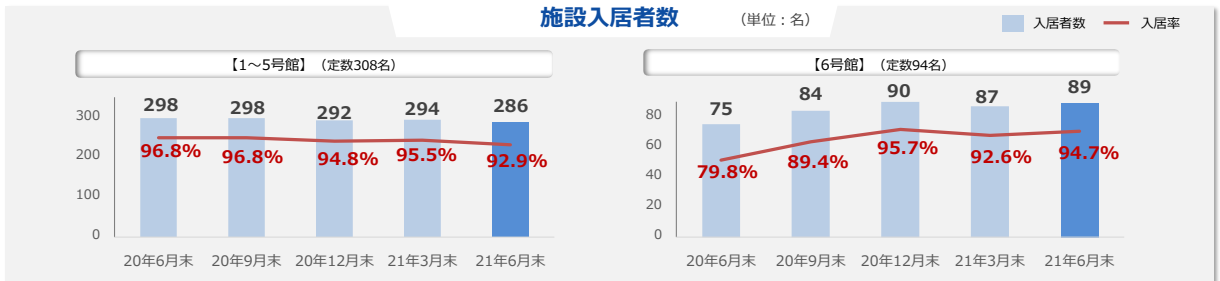
## ● その他の事業実績

(単位：百万円)

	21年3月期 第1四半期		22年3月期 第1四半期		対前年同期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	720	100.0%	742	100.0%	22	3.1%
経費	738	102.6%	723	97.5%	△14	△2.0%
営業利益	△18	△2.6%	18	2.5%	36	-

## 施設入居者数

(単位：名)



Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

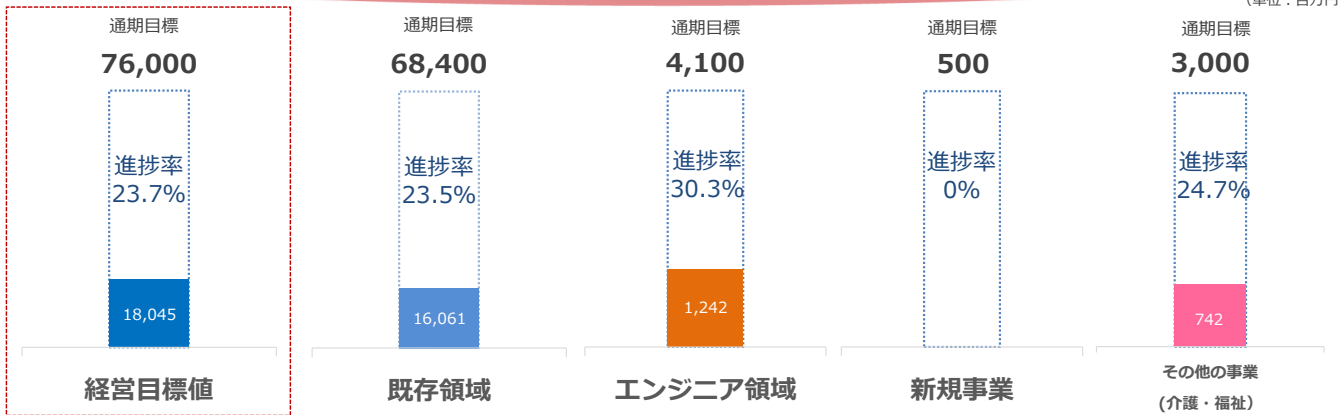
27

- ・その他の事業についてご説明いたします。
- ・介護施設につきましては、内覧等にコロナの影響が若干あるものの、黒字化は確実に進展しております。

# まとめ（ターゲット別売上高目標 進捗）



(単位：百万円)



	22年3月期 経営目標値（連結）			22年3月期 既存領域			22年3月期 エンジニア領域			22年3月期 新規事業			22年3月期 その他の事業		
	通期目標	第1四半期 実績	進捗率	通期目標	第1四半期 実績	進捗率	通期目標	第1四半期 実績	進捗率	通期目標	第1四半期 実績	進捗率	通期目標	第1四半期 実績	進捗率
売上高	76,000	18,045	23.7%	68,400	16,061	23.5%	4,100	1,242	30.3%	500	0	0%	3,000	742	24.7%

Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

28

- ・ターゲット別売上高目標の進捗についてご説明いたします。
- ・こちらのグラフは通期の目標に対して、それぞれどこまで進捗したかを表しております。
- ・全体の中で、特にエンジニア領域は順調に推移しておりますが、この領域が成長の大きなエンジンになりますので、前倒しで拡大を図ってまいりたいと考えております。



## 4 今後の見通し (2022年3月期)

## 2022年3月期 通期連結業績予想



通期連結業績予想では、増収増益を見込んでおります。今回の予想では、成長のための投資を含んでおります。

■ 2022年3月期通期連結業績予想数値（2021年4月1日～2022年3月31日）

（単位：百万円）

	21.3期実績		22.3期予想		対前期比	
	実績	百分比	予想	百分比	増減額	増減率
売上高	68,213	100.0%	76,000	100.0%	7,786	11.4%
営業利益	2,599	3.8%	3,000	3.9%	400	15.4%
経常利益	2,949	4.3%	3,000	3.9%	50	1.7%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,592	2.3%	2,000	2.6%	407	25.6%

Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

30

- ・通期連結業績予想についてご説明いたします。
- ・コロナの影響がどうなるのか、半導体の調達状況、アジアで起こっている部品調達の状況等々がありますので、連結業績予想は修正しておりません。今後、修正の必要があると判断した際は、速やかに開示させていただきます。
- ・ここに記載しておりませんが、新市場区分のプライム市場を選択申請することを機関決定したことをお伝えさせていただきます。

## 5 株主還元方針



# 株主還元方針



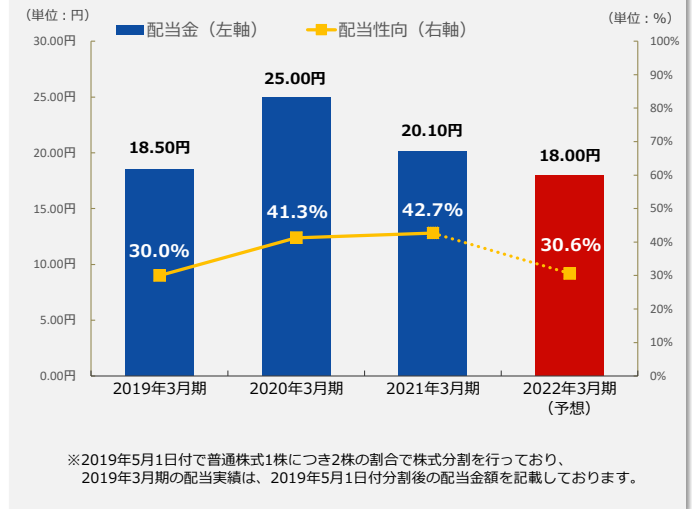
## 基本方針

当社は、株主に対する利益還元と企業価値の向上を経営の重要課題と位置付けており、連結配当性向30%を目安に株主の皆さまへ安定した利益還元を継続することを基本方針としております。

## 2022年3月期の配当予想

2021年5月12日に「2021年3月期決算短信[日本基準]（連結）配当予想」で公表いたしました一株当たり配当金額（18.00円）を予想しております。  
今期は、来期以降の成長のための投資を行うことを踏まえ、配当性向は30.6%としております。

## 配当金と配当性向



- ・株主還元方針についてご説明いたします。
- ・中期経営計画では、積極的に投資を行い成長させていきたいと考えており、一株当たりの今期配当につきましては、配当性向30.6%の18.00円を予想しております。

## 6 補足資料

# 連結貸借対照表



(単位：百万円,%)

	21年3月末		21年6月末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
<b>流動資産</b>	<b>14,813</b>	<b>68.5</b>	<b>14,680</b>	<b>68.7</b>	<b>△133</b>
現金及び預金	5,873	27.2	5,624	26.3	△249
受取手形及び売掛金	8,094	37.4	8,162	38.2	67
<b>固定資産</b>	<b>6,817</b>	<b>31.5</b>	<b>6,681</b>	<b>31.3</b>	<b>△136</b>
有形固定資産	4,654	21.5	4,659	21.8	4
無形固定資産	305	1.4	280	1.3	△25
投資その他の資産	1,857	8.6	1,740	8.1	△116
<b>資産合計</b>	<b>21,631</b>	<b>100</b>	<b>21,361</b>	<b>100</b>	<b>△269</b>
<b>流動負債</b>	<b>8,178</b>	<b>37.8</b>	<b>8,449</b>	<b>39.6</b>	<b>271</b>
未払費用	4,541	21.0	4,755	22.3	213
未払法人税等	494	2.3	96	0.5	△398
賞与引当金	950	4.4	530	2.5	△419
<b>固定負債</b>	<b>689</b>	<b>3.2</b>	<b>722</b>	<b>3.4</b>	<b>32</b>
退職給付に係る負債	345	1.6	388	1.8	43
<b>負債合計</b>	<b>8,868</b>	<b>41.0</b>	<b>9,171</b>	<b>42.9</b>	<b>303</b>
<b>株主資本</b>	<b>12,744</b>	<b>58.9</b>	<b>12,173</b>	<b>57.0</b>	<b>△570</b>
<b>純資産合計</b>	<b>12,763</b>	<b>59.0</b>	<b>12,189</b>	<b>57.1</b>	<b>△573</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>21,631</b>	<b>100</b>	<b>21,361</b>	<b>100</b>	<b>△269</b>

## Point

### ①稼働拡大による増加

製造系人材サービスの稼働拡大により、流動資産の「受取手形及び売掛金」他及び流動負債の「未払費用」他が増加しました。

### ②納税

5月末の法人税等他の納税により、流動負債の「未払法人税等」他が減少しました。

### ③賞与支給

6月末の夏季賞与支給により、流動負債の「賞与引当金」が減少しました。

### ④配当金

6月の配当金支払により、株主資本が減少しました。

### ⑤全体

上記の結果、前期末比で資産合計が1.2%減少、負債合計が3.4%増加、純資産合計が4.5%減少となり、自己資本比率は1.9%減の57.1%となりました。

Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved



人を育て 人を活かす

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

＜IRに関するお問い合わせ先＞

日総工産株式会社 IR室

電話 045-777-7630

E-mail ir@nisso.co.jp

URL <https://www.nisso.co.jp/>